



鹿児島市のグリーンツーリズムを体感

国際文化学科 太田ゼミ



国際文化学科の太田秀春教授のゼミ生 22 名が、鹿児島市との連携事業の一環で、グリーンツーリズムを体験するフィールドワークを 10 月 16 日に鹿児島市の松元地区で行いました。

最初に訪れたのは直木町にある有限会社坂之上製茶。鹿児島県はお茶の生産量が全国トップレベルであり、松元地区のまつもと茶は、島津家へ献上していた歴史と伝統があります。代表取締役の坂之上勝利氏と奥様の和美氏から、会社の歴史や現在の取り組みについてお話を伺い、お茶の香りが広がる工場で、摘み取った茶葉を商品化する工程を見学しました。工場の前には茶畑が広がっており、茶畑を眺めながらスタッフの方が準備してくださったお茶とお茶の葉の天ぶらをいただきました。

その後、春山町にある都市農村交流センター「お茶の里」へ移動し、おいしいお茶の入れ方や、鹿児島の農業を盛り上げることを目的に 2019 年に結成された「ポタジェファム」の取り組みについて学びました。さらに、新鮮

な有機野菜にこだわった「そのやま農園 Deli 森のかぞく」(鹿児島市名山町)のお弁当も試食し、地域の方々と交流しながら自然豊かな地域でのグリーンツーリズムを体感しました。

坂之上製茶では、2023 年にお茶畑の中に店舗を構えて商品販売のほか、ワークショップの開催も検討しているため、今後、大学生の視点で活性化の提言を行う予定です。そのための先行事例研究として同日、薩摩焼の里として知られる日置市東市来町の美山も視察しました。



鹿児島市高齢者の交通安全・転倒予防教室に参加

社会福祉学科 岩崎ゼミ

鹿児島市セーフコミュニティ高齢者の安全対策委員会が取り組んでいる牟礼岡市区の交通安全および転倒予防教室に参加しました。この取り組みは、けがや事故など、日常生活の中で高齢者の健康を阻害する要因を予防することによって、安全なまちづくりを進めるセーフコミュニティの構築を目指しています。

会場である牟礼岡校区コミュニティセンターには、20 名ほどの高齢者が集まり、転倒予防体操「よかよか体操」を一緒に行いました。転倒の原因は、環境要因よりも身体面の要因が多いとのこと、みなさん熱心に体操に取り組んでおられました。続いて、交通安全教室に参加。



講話以外にも体験型学習として、暗闇に見える専用の眼鏡を通して反射板を見たり、酩酊状態の模擬体験ができるゴーグルを着けて酩酊状態での歩行の体験などをさせていただきました。

今回、牟礼岡地区の高齢者の方々と交流に加え、行政の方々の地域での取り組みを拝見することができました。この取り組みが地域に浸透し、地域住民の方々の自主的な活動として根付いて欲しいと思うとともに、そのために自分たちに何ができるかについて考えるよい機会にもなりました。

岩崎ゼミ 4 年：寺田優哉・大原美岬・草野春香・大里実希



音楽学科学生がJR九州と協働でウォーキングイベントを企画・開催

10月29日(土)に指宿市で開催されたJR九州のイベント「駅長おすすめ JR九州ウォーキング秋編」において、音楽学科の学生がコース企画、ポスター&マップ作成、チェックポイントでの生演奏でコラボレーションしました。

このイベントは本学が取り組んでいる「地域人材育成プログラム」の一環で、学生たちは4月から企画・運営に携わってきました。ポスター&マップ作成を行なった椎原真介さん(管弦打楽器演奏家課程4年・ファゴット)は「このような機会をいただき本当に嬉しかった。私なりにではあるが、音楽と指宿の魅力を伝えることのできるものに仕上がったと思う」と今回の経験を振り返ってくれました。

イベント当日は天候に恵まれ、抜けるような青空の下、JR指宿駅構内ではユーフォニアム・デュオと木管五重奏、指宿市考古博物館(時遊館 COCCO はしむれ)入口では声楽アンサンブル、ピアノ連弾、ヴァイオリン・デュオのグループ総勢22名がそれぞれ演奏を披露しました。ウォーキング参加者だけでなく、観光客や地域住民の方々も足を止め、一緒に口ずさんだり、うっとりときき入る様子が見られました。

演奏した学生は「電車から降りた方やイベントに参加する方々が立ち止まって耳を傾けて、素敵な演奏をありがとうと言ってくださった。改めて音楽の素晴らしさを感じることができた」(桑鶴涼花さん/管弦打楽器演奏家課程2年・ユーフォニアム)、「今回のイベントを通して、練習や本番でも楽しく演奏することができ、アンサン

ブルの面白さを改めて知った」(田口茜さん/管弦打楽器演奏家課程4年・ホルン)、「これまで野外で演奏する機会があまりなかったので、弾いていて気持ちよかった」(天野水紀さん/管弦打楽器課程4年・ヴァイオリン)、「イベントの参加者や指宿市民の方々から、多くの喜びの声をいただいたことがとても嬉しかった」(島中輝士風

さん/声楽コース3年)、「イベント参加者の方に音楽を通して笑顔が届けられたことが何より嬉しかった。とても勉強になった一日だった」(向田麗弥さん/ピアノ課程2年)と、音楽の素晴らしさを多くの人と共有する喜びについて述べてくれました。

一緒に携わった伊藤綾学科長(音楽学)は「当日まで急な場所変更など不測の事態が続いたが、学生たちは臨機応変に楽しみながら対応してくれ、遅しさと頼もしさを感じた。指宿市民の方々からも『文化的な香りがする』とご好評をいただいた。今後も学生によるこのようなフィールドワークの機会を増やし、鹿児島県の音楽活動を盛り上げていきたい」と意気込みを語ってくれました。

